



ダイバーシティ通信

■ 教職員のためのトップセミナー2019 ■

「男女共同参画を实のあるものにするために—いちばん安上がりなポリシーとは?—」

講師：大隅 典子 氏（東北大学副学長（広報・共同参画担当）、医学系研究科 教授）
2019年11月20日（水）14：00～15：30 本部棟3階大会議室



2019年11月20日（水）に本部棟大会議室において、教職員のためのトップセミナー2019を開催しました。

このセミナーは、男女共同参画推進における教職員の意識改革のための啓発活動として実施するもので、今年度は東北大学副学長（広報・共同参画担当）である医学系研究科教授の大隅典子氏をお招きし、「男女共同参画を实のあるものにするために—いちばん安上がりなポリシーとは?—」と題してご講演いただきました。当日は本学の教職員を中心に、北海道大学からのWeb中継での参加を含む計31名の参加がありました。

講演では日本の女性の労働状況について、女性の家事負担割合等のワークライフバランスの観点から諸外国との比較データを用いて考察いただきました。また、これまでの東北大学における男女共同参画の取り組みについてご紹介いただいた他、後半ではダイバーシティの実現に向けた意識改革の重要性、特に性差がもたらす無意識のバイアス（偏見）への認識について、具体例を用いて解説いただきました。

講演後、活発な意見交換が行われ、参加者からは「お金をかけないで成果を出すことは大切だと思います。興味深かったです。」等の声があり、ダイバーシティへの関心がより高まったことが窺えました。



教職員のためのトップセミナー2019

男女共同参画を实のあるものにするために—いちばん安上がりなポリシーとは?—

日時 2019年11月20日(水) 14:00-15:30 (13:30開場)

会場 東工大 本部棟3階大会議室

講師 大隅 典子 氏
東北大学副学長（広報・共同参画担当）
医学系研究科 教授

プログラム

14:00-14:30 開会挨拶
大隅 典子 氏 副学長
「男女共同参画を实のあるものにするために—いちばん安上がりなポリシーとは?—」
14:30-15:00 講演
大隅 典子 氏 副学長
15:00-15:30 質疑応答
大隅 典子 氏 副学長
山崎 浩吉 氏 教授

主催 教職員会
共催 医学系研究科
後援 東北大学
協賛 東北大学副学長 大隅 典子 氏
東北大学 学務部 学務課 学務課長 山崎 浩吉 氏
東北大学 学務部 学務課 学務課長 山崎 浩吉 氏
東北大学 学務部 学務課 学務課長 山崎 浩吉 氏

お問い合わせ
TEL 0143-46-5018
Eメール info@diversity.nu.ac.jp
URL https://www.nu.ac.jp/diversity/

科学技術人材育成費補助事業（文部科学省）

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）に採択！

この度、北海道内の6機関（※）が連携してダイバーシティの推進を目指す取り組みとして、標記補助事業に採択されました。

この取り組みでは、北海道内の大学と企業が連携し、多様な研究人材の活躍による地域活性化に向けて、「様々な背景を持つ研究者が“研究を継続し、自立に向けて努力し、それぞれに『イノベーションコア人材』として飛躍”することを可能にするダイバーシティ研究環境の実現」を目指しています。

※北海道大学、帯広畜産大学、北見工業大学、株式会社アミノアップ、日東電工株式会社、本学

＜本事業の取組み＞

1. 研究環境のさらなる改善と意識改革
 - ・ライブイベントと研究の両立支援
 - ・組織の意識改革のための取組み など
2. キャリアアップと自立に向けた支援
 - ・共同研究促進のための研究交流発表会
「超異分野 meetup（2020年3月4日開催）」
 - ・女性研究者リーダー育成を目的とした共同研究費助成 など
3. 上位職・管理職のさらなる増加
 - ・各界のリーダーによるセミナー開催 など

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」

超異分野 meetup

Toward innovation beyond boundaries

3/4 2020 Wed 13:00-19:30

参加無料・当日経費無料
要予約の参加可能

共同研究の種をまく
研究をつなぐ
超異分野 meetup は、異なる分野の研究者と交流したり共同研究を促進するイベントです。研究環境に関する悩みやアイデアを共有し、お互いの研究に刺激を与えたいという研究者のニーズに応えるために開催されています。

開催要項

会場 北海道大学 学術交流会館（札幌市北区北6西5）
定員 20名程度（先着順）
申込期間 2020年2月20日（水）9:00～2月27日（土）17:00
対象 研究費助成に所属する研究者
参加費 無料
※本学参加費：北海道大学 学務部 学務課 学務課長 山崎 浩吉 氏 学務課 学務課長 山崎 浩吉 氏

内容

研究分野を超えて、いろいろな分野の研究者と交流したり共同研究を促進するイベントです。研究環境に関する悩みやアイデアを共有し、お互いの研究に刺激を与えたいという研究者のニーズに応えるために開催されています。

参加申込 要問い合わせ
イベント詳細、お申し込み・お問い合わせはこちら。
お申し込み・お問い合わせはこちら。
お申し込み・お問い合わせはこちら。

主催 文部科学省
共催 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」
後援 文部科学省

■ キャリア形成のためのランチタイムセミナー第12回 ■

「理系女性研究者という選択～志と取捨～」

講師：黄 緒平（コウ ショヘイ）氏（産業技術大学院大学産業技術研究科 助教）
2019年7月23日（火）12:10-12:45 A317室

第12回目のランチタイムセミナーは、産業技術大学院大学助教の黄 緒平（コウ ショヘイ）氏にご講演いただきました。中国出身で日本への交換留学を経て、現在夫婦ともに研究者として働く日常についてお話いただきました。研究紹介のほか、育児と研究職を両立するために心掛けていること等、小さなお子さんを持つ母親の視点からご自身の経験に基づいて語られました。



当日は33名の参加があり、参加者からは「外国留学したいと思った。」「女性が研究者として生きていくのは難しいのかなと思った。ただ、パートナーとの幸せや互いの理解があれば、社会での地位や名誉に左右されることはないのかなと思った。」等の感想が寄せられました。



■ キャリア形成のためのランチタイムセミナー第13回 ■

「会社に必要とされること」

講師：古舘 佑子 氏（北開工営株式会社 管理本部 グループリーダー）
2020年2月7日（金）12:10-12:45 A317室

第13回目のランチタイムセミナーは、北開工営株式会社管理本部グループリーダーの古舘 佑子氏にご講演いただきました。これまでの技術者としての経歴や出産・育児取得後、管理本部に配属されてからの働き方、子育てとの両立や今後の目標についてご紹介いただきました。後半では会社に必要とされる存在になることで得られるメリットやそのために資格取得や経験を積むことの大切さなどについても語られました。



当日の参加は15名と少ないながら、自身の経験からの共感や将来への不安などに基づいた熱心な質問やコメントが寄せられ、アンケートでは「企業説明などでは聞けない休みの取りやすさ、育児の使いやすさが聞けたのでとてもタメになりました。」「新婚で一時期専業主婦の経験もありましたが、家庭と仕事の両立もできるのだと実感が湧きました。」などの感想がみられました。



ホームページ案内

男女共同参画推進室

Office for Promotion of Gender Equality

http://www.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/

男女共同参画推進室では、様々な支援活動を行っております。詳細についてはホームページもしくは男女共同参画推進室までお問い合わせください。

- ◆ ライフイベント期（妊娠・育児・介護等）の研究者への研究支援員配属
- ◆ ライフイベント期の自家用車通勤の学内駐車使用許可手続き案内
- ◆ 女性研究者リーダー育成を目的とした共同研究費助成（令和2年度～）
- ◆ ベビーシッター・シルバーシッター経費の助成
- ◆ 緊急時のタクシー経費助成 など



<https://www.opened.network/>

本学も参画している全国ダイバーシティネットワークでは、ダイバーシティに関する幅広い情報を発信していますので、ご興味のある方はぜひご覧ください。

- ◆ ダイバーシティに関する取組事例集
- ◆ シンポジウム・講演会等に関する情報
- ◆ 理系をめざす女子小中高生向けの取組に関する情報 など

ダイバーシティ通信 第11号（2020年3月）

国立大学法人 室蘭工業大学 男女共同参画推進室 女性研究者支援ユニット（UFR）
〒050-8585 北海道室蘭市水元町27番1号 TEL：0143-46-5018 / FAX：0143-46-5032
E-mail：ufr@mmm.muroran-it.ac.jp URL：https://www.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/

本学の男女共同参画推進を応援して下さる個人・企業からのご寄付を受け付けております。詳しい手続きは下記URLをご覧ください。
https://www.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/kifu.html
ぜひご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

本誌および本学の男女共同参画等についてのご意見・ご要望をUFRまでぜひお寄せください。

男女共同参画推進室
Office for Promotion of Gender Equality

女性研究者
支援ユニット
Unit for Female Researchers